

2026年度 後期 「しのめプラス」(社会人講座)【講座概要】

【8/1 現在】

番 号	515	昼・夜	夜	新規	○	悠々大 学 登 録	有	○
		分 野	子育て支援	継続			無	
講 座 名		待ち望むアドベント ―絵本と言葉とおもちゃの贈り物―						
講 師 /(所属等)		上岡 紀美			子ども専攻			
講 座 概 要		絵本を読むこと、詩の朗読を聴くこと、言葉遊びを楽しむこと。子どもにとって「文学」の世界に触れることは、豊かな感性や言葉を育む大切な意味を持ちます。前半は、クリスマス絵本の紹介を交えながら、乳幼児期における文学の奥深さを学びます。後半は、聖夜を待つ期間(アドベント)を豊かに彩る手作りおもちゃ(センサーボトル)を製作します。						
回数	月 / 日	曜日	内 容					
1	12/11	金	子どもにとっての文学の意味とクリスマスにちなんだ手作りおもちゃ					
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
時 間		18:00～19:30						
教 室		A-1-2						
受 講 料		1,200円						
テ キ ス ト		なし						
諸 費 用 等		材料費 500円程度(講座当日に実費徴収)						
定 員		5名以上						

開講する講座と「東雲力」との対応表			
東雲力	4つの力	項 目	2項目に○を記入
	自ら考える力	必要に応じて適切な方法を選択して情報を収集することができる	○
		客観的に情報をとらえ分析し、問題の本質を見極めることができる	
		自己を取り巻く環境や社会の問題に関して疑問をもち、問題の原因や本質を探究することができる	
	挑む力	他者と自己の違いを認め、自己の強みを認識することができる	
		「やればできる」という思いで、新たな試みにもチャレンジすることができる	
		目標達成に向けて、自分の意思や判断において自ら進んで行動することができる	
	つながる力	多様な価値観を受け入れ、相手の状況や気持ちに配慮することができる	○
		自らの意見をわかりやすく相手に伝え、目標達成に向けて人を巻き込むことができる	
		自分や他者の役割を理解し、目標達成に向けてお互いに連携・協力して物事を進めることができる	
	やり遂げる力	一度決めたことは、困難や障害があってもあきらめずにやり遂げることができる	
		状況を見ながら、計画や行動を柔軟に変更することができる	
		自分にあったストレス処理の方法を知り、対処することができる	
		ストレスやプレッシャーがかかるような状況でも、自分でその要因に働きかけ軽減することができる	